

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	UPDATE新江古田スタジオ	公表日	2025/3/27
------	----------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	・職員同士でスペースの把握をしております。お子様の様子や状況に合わせて、外での活動を取り入れてスペースを確保している点。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	・シフトの管理などをこまめに行い、適切な人数を配置できるようにしている点。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	・年齢が低いお子様にも分かりやすいよう、図などを用いて情報を伝達している点。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.6%	15.4%	・毎朝清掃を行うとともに、お子様が手に取りやすい位置に物を配置している点。	・騒音問題に対する防音措置を強化いたします。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	・職員同士で連携を取り、個別の部屋を使用できるようにしている点。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	92.3%	7.7%	・毎日終礼のタイミングで適宜活動内容などを共有している点。	・職員間でコミュニケーションを積極的に行う意識をさらに強化いたします。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・評価表に対する締め切りを1か月程度設け多くの保護者の方からの意見を集めている点。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・風通しの良い職場環境によって、職員間での意見交換をしやすくしている点。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0%	100.0%		・設置できるよう対応をしております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・研修では座学だけでなくロールプレイも多いお子様の立場を理解する環境を設定している点。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・作成できた際には、保護者の確認を取りダブルチェックを行っている点。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・担当者会議などを行い、多様な視点から支援方法を考え作成している点。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・お子様の支援に関する意見交換を行っている点。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・支援前に支援計画を確認し、計画に沿った支援を行っている点。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	・訪問などを取り入れ、スタジオ内だけでなく外部でのお子様の様子をアセスメントしている点。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	・モニタリングにより外部の関係機関との連携を行い、より具体的な支援内容の設定を行っている点。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92.3%	7.7%	・職員間で意見を交換し、より良いプログラムの作成に繋がるよう努めている点。	・職員同士での共有を引き続き行っていき、活動の立案をチームで行っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・前回のお子様の活動内容をあらかじめ確認し、さらなるステップアップにつなげている点。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	92.3%	7.7%	・常に保護者の方と様子変化について共有できるような環境を設定し、個別や集団を行っている点。	・集団を希望していても、ご利用の時間帯によっては集団活動ができないこともございます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	92.3%	7.7%	・支援内容の決定時には、チームで取り組むため、常に情報を共有できるような環境設定をしている点。	・打ち合わせの機会を更に設け、情報共有を十分に行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・その日行われた共有が、いなかった職員にも共有できるように記録を行っている点。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・記録はだれが見ても理解できるよう、簡潔かつ十分な情報量において共有している点。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	・モニタリングだけでなく、訪問などを取り入れ適切な計画の見直しを行っている点。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	・良く知っている者だけでなくこれから支援に携わる職員も同行する機会を設けている点。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	69.2%	30.8%	・保護者の要望によって適宜行っている点。	・更に医療機関とも共有や連携できるような体制を整えるとともに職員の知識をさらに向上する研修を行います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%	・相互理解のため、訪問や電話での情報共有を行っております。また、園での実務経験がある者をスタジオに常務している点。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	76.9%	23.1%	・保護者の要望によって行っている点。		
	(28～30は、センターのみ回答)						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
(31は、事業所のみ回答)							
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	92.3%	7.7%			・連携を行えている機会が少ないため、必要に応じて積極的に連携します。	

関係機関や保護者との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	69.2%	30.8%	・訪問を行うことで交流をしている点。	・現在は交流の機会が少ないため、必要に応じて機会を設けます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	・保護者の方がいつでも相談を行うことが出来るようSNSなどを活用している点。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	84.6%	15.4%	・面談などの機会を活用しながら、個人に合わせた情報提供を行っている点。	・保護者の方のニーズに合わせて機会を設けます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	・利用者負担額について熟知しているスタッフが説明する機会を設けている点。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	・面談の内容から作成し完成すると確定する前に再度保護者の方にチェックをいただいている点。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	・計画をお見せする際には説明をきちんと行い、同意をいただけるよう取り組んでいる点。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・日常の中でも面談を行うことが出来ることを伝えている点。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	84.6%	15.4%	・イベントなどでも保護者同伴の機会を設け交流の場を作っている点。	・保護者同伴の機会が少ないため、ニーズに応じて機会を設けます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	・日常のフィードバックからニーズを察知し面談を設定している点。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	92.3%	7.7%	・ブログなどを活用し月ごとのイベントなどについても周知している点。	・継続してイベントでの様子などもブログなどに取り上げ発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	・メールなどでも利用者様の名前を匿名で記入している点。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	23.1%	76.9%		・現在地域の方に理解を頂けるイベントの設定が少ない、必要に応じて機会を増やしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	・座学だけでなくロールプレイなども行い理解を深めている点。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	92.3%	7.7%	・お子様も参加できるよう訓練を設定している点。	・研修日に出勤できなかったものために動画を取って残すなどして訓練できるようにします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	・一人一人のお子様の情報シートを作成して頂き、職員が確認できるようにしている点。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	92.3%	7.7%	・一人一人のアレルギーについて理解できるよう記入シートを利用している点。	・全員にシートの提出の依頼をしております。今後も継続いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・安全な環境を設定できるよう机上なども取り入れている点。	

非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	・ヒヤリハットに繋がりそうな場所に関しては、外部と連携して環境改善を行っている点。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	・定期的に研修の機会を設け、ロールプレイなども取り入れている点。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	・同意書などもお預かりして両者での理解を深めるタイミングを設けている点。	